

活用事例

- 橋長 : 189.4m、幅員 : 13.0m
- 橋梁形式 : 3径間連続箱桁PCラーメン橋
- 対象部位・部材 : A1橋台～P1橋脚地盤面
- 性能カタログ(又はNETIS)番号 : BR030068-V0126
- ☆ [性能カタログへのリンク](#)

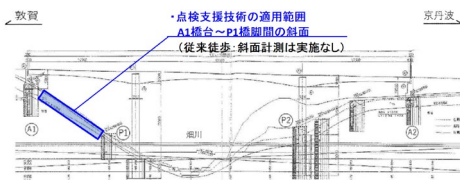
橋梁・支援技術



位置図及び側面図



側面図



点検対象範囲:
A1橋台～P1橋脚地盤面

○点検支援技術の効果

- ・従来技術(徒歩調査)と比較し、作業時間の短縮が見込める。
- ・現地にてPCで撮影データ(点群データ)の確認が可能のため、取り忘れを防止できる。
- ・小型機器のため、運搬が容易である。

○近接目視と同等と判断した理由

- ・機器本体より全方位の点群データ取得が可能である。
- ・検証点における計測誤差は±0.05mm程度である。

○使用時の留意事項

- ・データ取得時に機体を両手で保持するため、転倒や滑落の危険が伴う。
- ・樹木や構造物などの遮蔽物がある場合、頻繁に計測位置を移動する必要がある。



写真-1 現地斜面状況



写真-2 データ取得状況

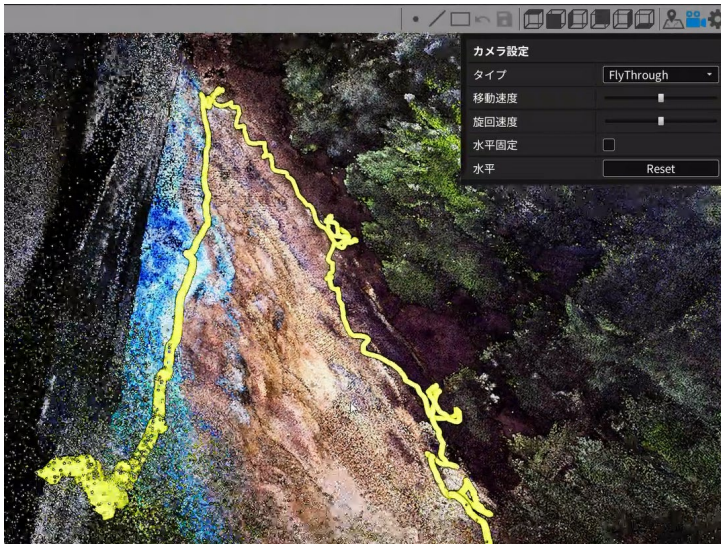


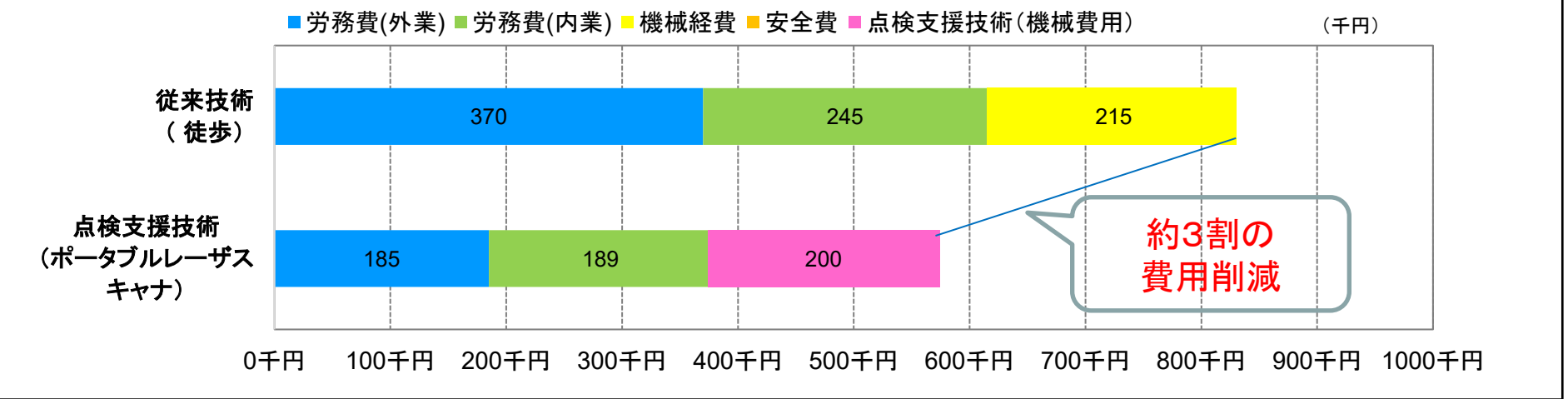
写真-3 データ解析状況



写真-4 点群データ図面

コスト比較

比較条件：A1橋台～P1橋脚地盤面を計測時のコスト比較。
評価：従来技術(徒歩)と比べ、外業費、内業費のコストダウンに寄与。



項目	従来技術	点検支援技術
外業	徒歩調査による形状把握	レーザスキャナによる形状把握
内業	画像分析・点検調書作成	データ解析・点検調書作成
比較対象	徒歩	ポータブルレーザスキャナ
合計金額	830千円	574千円
工程	2日	1日

○諸条件

点検面積:400.0m2

橋脚高:約37.7m(GL～桁下)

天候:曇り

対象部位・部材: A1橋台～P1橋脚地盤面

進入路:有り

点検時間:9:00～17:00

たたき落とし作業:無し

積算:業者見積もり(R7.11)

前回の健全度: I 判定